

ライフサイクルマネジメントのための海岸保全施設維持管理マニュアル(案)～堤防・護岸・胸壁の点検・診断～の概要

1. 海岸保全施設の維持管理は何故必要か？

- ◆ 海岸保全施設の中には築造後40年以上経っている施設が数多く存在しています。

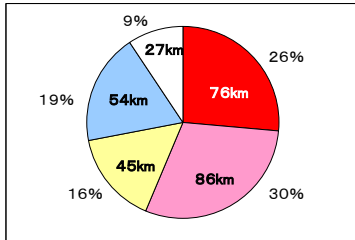
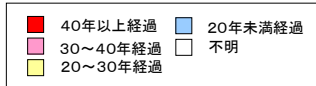


図 三大湾の海岸保全施設の築造後経過年数



* 海岸保全区域のうち堤防等の施設について調査

海岸保全施設が古くなるとひび割れや鉄筋の腐食が進行。放っておくと……



災害時の被災等による被害の発生

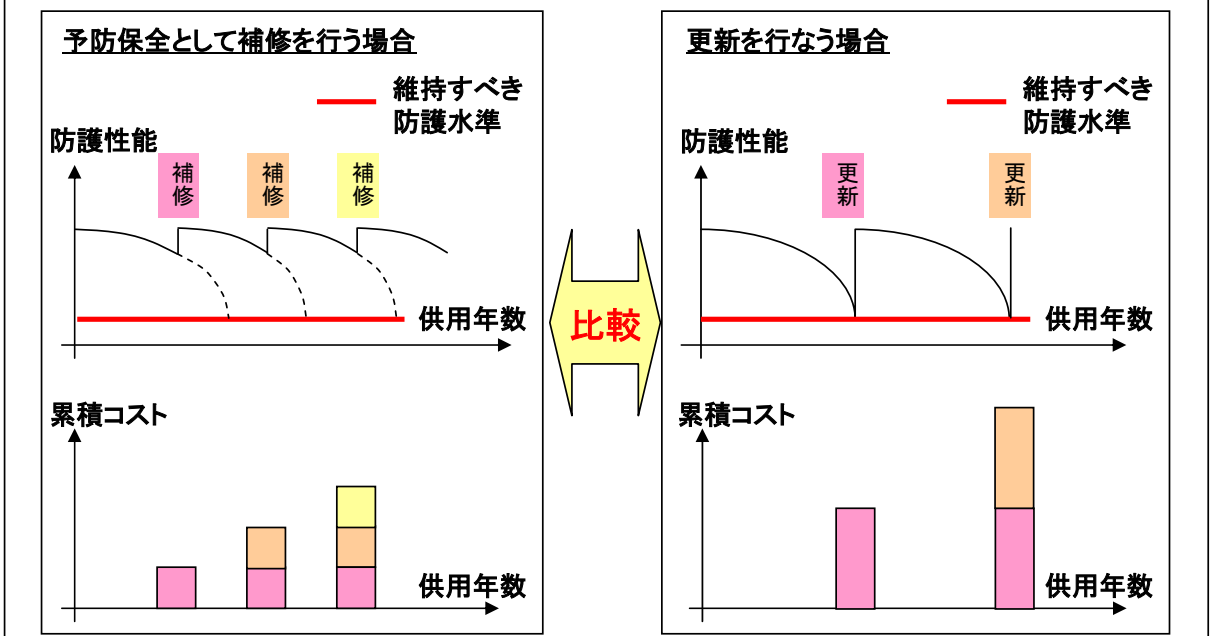
維持、更新費の増大

定期的な海岸保全施設の点検、補修が大切！！

2. LCM(ライフサイクルマネジメント)の概念と適時、適切な保全対策の実施

- ◆ LCMとは、施設の老朽化と性能低下の把握を行い、適時、適切な保全対策を実施することにより、必要な防護機能を維持しつつ、ライフサイクル（供用期間）に生ずる全ての費用を最小化することを目指した維持管理を行うことです。

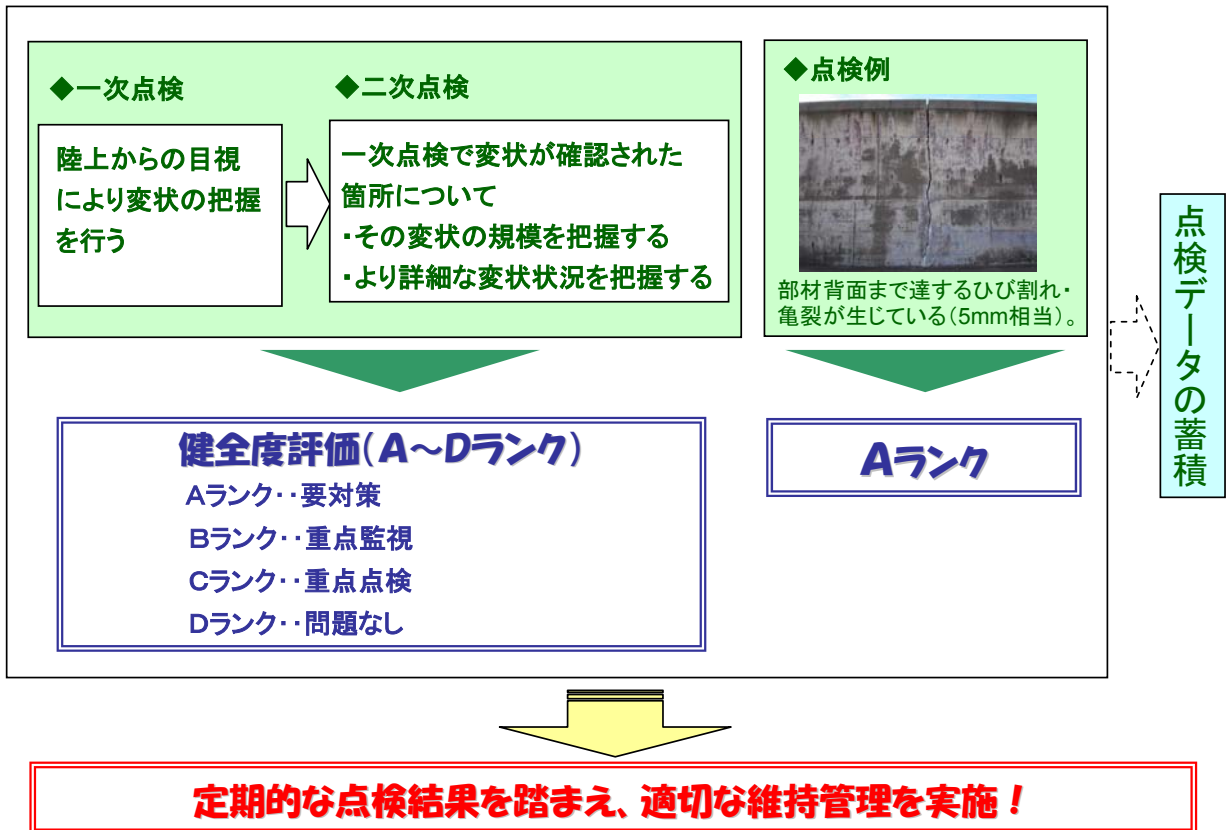
◎必要な防護機能を維持しつつ、ライフサイクルに生ずる全ての費用を最小化する維持管理のイメージ



適時、適切な保全対策により、ライフサイクルコストを低減

3. 海岸保全施設の点検、健全度評価

◆本マニュアル（案）では、コンクリート構造の堤防・護岸等の点検や健全度評価の要領を記載するとともに、維持管理計画の立案や対策工法について概要を紹介しています。



4. 海岸保全施設維持管理マニュアル(案)～堤防・護岸・胸壁の点検・診断～の構成

第1章 総論 ・マニュアルの目的 等	第5章 健全度評価
第2章 海岸保全施設の点検 ・点検の種類と目的 等	第6章 維持管理計画の立案 ・維持管理計画立案の考え方 ・ライフサイクルコストの算出
第3章 一次点検 ・一次点検の項目、方法 等	第7章 対策工法
第4章 二次点検 ・二次点検の項目、方法	付録-1 一次点検シート 付録-2 二次点検シート 付録-3 変状事例集 付録-4 点検事例